

2024 年度

環境経営レポート



対象期間： 2024 年 1 月～2024 年 12 月

発行日：2025 年 5 月 1 日



日置産業株式会社

環 境 経 営 方 針

【基本理念】

当社は明日への生きがいと活力に満ち、未来を見つめつつ自然に優しく、人と自然、人と人、人と社会が調和する街づくりに貢献して行きます。

【環境経営方針】

I. 自然との調和を第一に下記を推進します。

- 1) 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン等の化石燃料の削減）
- 2) 建設現場において、建設リサイクルおよび再生資源の利用を推進します。
- 3) 水使用量の削減を推進します。
- 4) 一般廃棄物の削減を推進します。
- 5) 環境に配慮した工事施工の励行および新工法の開発を推進します。

II. 環境関連法規制および各種協定を遵守します。

III. 本方針を全従業員に周知徹底します。

1) 2) については重点取り組み内容
環境経営システムの継続的改善を図ります。

改定日：2021 年 3 月 31 日

日置産業株式会社

代表取締役 日置 大之

1. 組織の概要

(1) 名称(登録組織名)及び代表者名

日置産業株式会社

代表取締役 日置 大之

(2) 事業所の所在地

兵庫県明石市大久保町江井島 895-1

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者・担当者 常務取締役 日置一雅

連絡先 TEL : 078-935-1235

FAX : 078-936-8430

E-mail : hioki@onyx.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

土木及び建築工事業

許可の内容

☐ 建設業許可：兵庫県知事 特定-30 第 402029 号

建築工事業/土木工事業/とび・土工工事業/舗装工事業

☐ 産業廃棄物収集運搬業許可： ※自社廃棄物の収集運搬のみ

許可番号 02804031901

許可品目：・廃プラ類（石綿含有含む）・金属くず・ガラス・コンクリートくず
・がれき類

(5) 認証登録範囲

対象事業所： 本 社

事業活動： 土木及び建築工事業

(6) 事業規模(2024 年度) 事業年度は 2023 年 6 月～2024 年 5 月

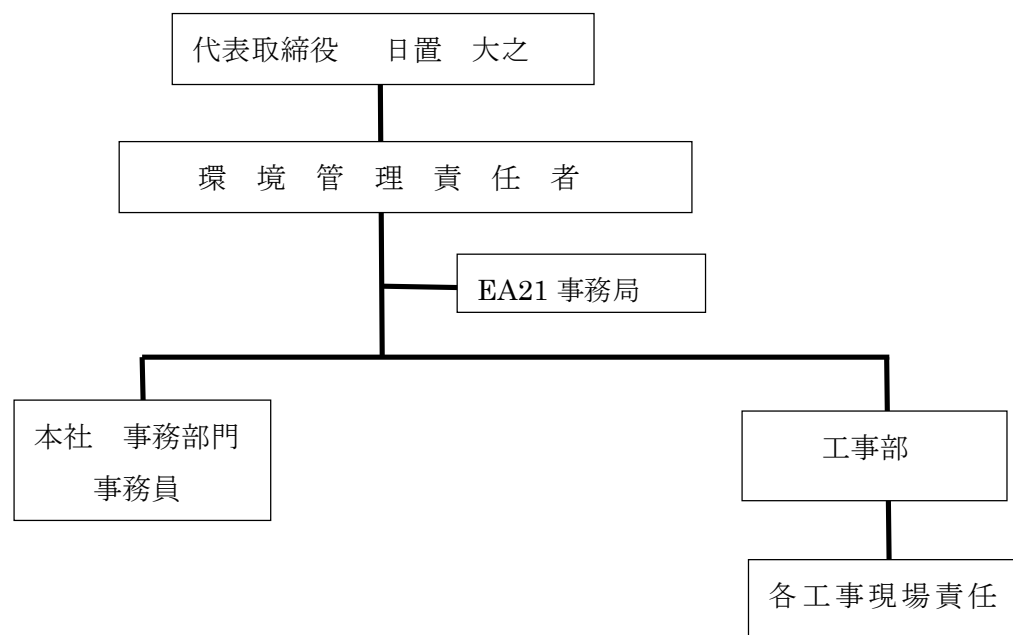
(環境活動は、1 月～翌年 12 月)

売上高 604 百万円 保有車両 19 台

工事件数 350 件

従業員 19 名

2. EA21 の推進体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・ 環境経営に関する統括責任
	・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・ 環境管理責任者を任命
	・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・ 環境目標・環境活動計画書を承認
	・ 代表者による全体の評価と見直しを実施
	・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理、
	・ 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認
	・ 環境目標・環境活動計画書を確認
	・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・ 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括
	・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・ 環境活動レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐
	・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・ 環境目標、環境活動計画書原案の作成
	・ 環境活動の実績集計
	・ 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施
	・ 環境教育訓練計画の作成と実施の管理
	・ 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）

	・環境活動レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施
	・自部門における環境方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・特定された項目の運用管理
	・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者	・建設現場における環境経営システムの実施
（工事代理人）	・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施
	・建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成
	・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 主な環境負荷の実績（2,024年度 1月～12月）

項 目	単 位	2024 年度 (2024/1～2024/12)	2023 年度 (2023/4～2024/3)	2022 年度 (2022/4～2023/3)
二酸化炭素排出量※	kg-CO2	65341	56405	56818
工事現場産業廃棄物	t	437	1,693	1,295
一般廃棄物	t	2.05	2.22	2.17
水使用量	m ³	141	118	143

※排出係数：0.318（kg-CO2/kWh） 2019年度関西電力調整後排出係数

4. 環境目標及びその実績・評価

二酸化炭素排出量については、個別エネルギーの目標値からの換算値を目標とした。グリーン購入については設定金額を設けて今回の目標とした。また、産業廃棄物(コンクリート塊、As/Co 塊)については、全排出量に占める再資源量をリサイクル率として算定した。なお、化学物質の使用はない。

上記のようにリサイクル率や CO2 削減のテーマとして今後も検討するものである。電力使用量は LED 化により予定内の数値である。昨年より導入の人感センサーや置き場の LED 化などにより前年より電力使用量の削減が出来ている。

車両燃料のうち、ガソリンの使用量が目標の達成ができなかった。現在当社の仕事量や、受注量が上がり車両の稼働率が高くここ数年、従業員の数も増えたことによる車両の購入で使用量が大幅に増えた。但し、車両はエコ車の購入としている。エコドライブの励行を引き続き継続させていきたい。また、軽油の使用は、社員のエコドライブ意識の向上も寄与していると考えられる。

事務所の一般廃棄物量はごみ袋の数換算であり、減少している。裏紙や再利用等により無駄の削減をしている事、再生資源材のリサイクル促進が成果に出た

水使用量については、事務所ではお茶・トイレ用および車両の洗車ぐらいである。日頃から節水に努めており継続する。

産業廃棄物の処分量が大幅に増えているのは舗装工事の受注が大きく影響しているが、再資源化は確実に推奨している。

E A 2 1 に取り組んで数年が経過しましたが、全員が環境を意識して、各項目の削減に取り組み始めたことは評価できる。その一方で材料やガソリン、軽油の価格高騰や仕事の受注状況が初年度に比べて大幅に変わってきている。今後もこの活動の継続と強化を図り 2023 年度以降の目標設定及び環境活動計画をこのまま削減する中期目標では厳しいので前年を対象にし目標を達成していきたい。

5. 中長期目標 ※前年数値の 1%削減を目標とする。25 年 26 年は目標数値より削減(案)

項目	単位	2023 年度 基準年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	56,405	55,840	55,281	54,728
事務所 電力使用量	kWh	13,601	13,465	13,330	13,197
車両・軽油使用量	L	9,633	9,652	9,555	9,459
ガソリン 使用量	L	11,686	11,569	11,453	11,338
一般廃棄物排出量	t	2.22	2.20	2.17	2.15
総排水量(水使用量)	m ³	118	117	115	114
産廃・再資源化率	%	95.3	94.3	93.3	92.4
環境に配慮した工法	件	2	2	2	2

6. 環境目標とその実績

○：目標達成 ×：目標未達成

項目		2023 年度 基準年度	目標/実績(2024 年 1 月～/12 月)			
			目標	実績	達成度 (%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	56405	55840	65342	85	×
事務所 電力使用量	kWh	13601	13465	15550	86	×
車両・軽油使用量	L	9633	9652	12592	76	×
ガソリン使用量	L	11686	11569	11969	96	△
※産廃・再資源化率	%	95.3	94	87.2	92	△
一般廃棄物排出量	t	2.22	2.20	2.05	107	○
総排水量(水使用量)	m ³	118	117	141	82	×
環境に配慮した工法	件	2	2	2	2	○

※産廃・再資源化率の算定根拠：再資源化量/全排出量（380 t /436 t × 100＝87.2%

・環境に配慮した工法

- ① コンクリート破砕時アイオン使用からハサミ小割に変更し近隣対策
 - ② 舗装工事では超低騒音型使用。
- ・化学物質は使用していない為目標設定をしない。

7. 主要環境経営計画の取組み結果とその評価並びに次年度の取組み内容

取り組み事項	評価	内容	次年度 取組み内容
Ⅰ. 電力使用量の削減			
エアコン温度の適正化	○	冷房 28 度 暖房 20 度目安	継続
サーキュレーター設置	○	エアコンにも設置	—
不要照明の消灯	○		継続
設備のから運転禁止	○	冷暖房は不要な場合消す	—
Ⅱ. ガソリン使用の量の削減			
アイドリングストップ	△	夏場での待機時のエアコンの使用	継続
急加速・急停車の抑制	○	遵守されていた。	継続
移動コースの効率化	○		継続
空気圧・オイル等の点検	○	常に点検を心掛ける。	継続

Ⅲ. 軽油の使用			
アイドリングストップ	△	夏場での待機時のエアコンの使用	継続
過積載禁止	○	励行されている。	継続
車両整備	○	遵守されている。	継続
重機の省エネ運転	○		
Ⅳ. 産業廃棄物排出量の削減と適正処理			
・分別と処理の適正化	○	現場での重要管理項目としている。	継続
・マニフェスト管理	○	確実に処理されている。	継続
・再資源化の徹底	○	再資源化率は 95%	継続
Ⅴ. 一般廃棄物排出量の削減			
分別によるリサイクルの推進	○	分別排出の励行	継続
ミスコピーの防止	△		
裏紙の活用	○		
Ⅵ 水使用量の削減			
節水	○	節水意識が向上した。	継続
Ⅶ.その他			
環境配慮工法		現場での使用機械 3 次規制装置	完了
		アイオンの使用からハサミ小割に変更	完了

EA21 環境活動により意識の変化が見られる。2023 年度以降についても上記環境活動取り組みを継続、強化し、すべてが「○」となるように継続活動する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

遵守評価日 2025/5/1

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律および条例	・収集運搬・処分依頼業者との適正な契約 ・マニフェスト伝票の管理（依頼:A,B2,D,E、自社収集運搬: A,B1,B2,C2,D,E） ・管理票交付等状況報告書	遵守
建設リサイクル法	・建築物等の分別解体義務、事前届け出 ・特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
騒音規制法及び条例	特定建設作業の届出(元請けが対応) 市町村長に 7 日まで 敷地境界線での規制基準の順守(85dB)	遵守
振動規制法及び条例	特定建設作業の届出(元請けが対応) 市町村長に 7 日まで 敷地境界線での規制基準の順守(75dB)	遵守
石綿障害予防規則	石綿等使用有無を調査記録・作業計画	遵守
大気汚染防止法	建築物・工作物の解体・補修工事の届出 ・石綿使用の有無、特定粉じん排出等の作業	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検実施	遵守
消防法	消火設備の定期点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、関係当局からの違反、訴訟、環境上の苦情等も過去 3 年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション 21 に取り組んで来ました。

前回の取り組みより、まだまだ電気器具への対応が可能であることから、置き場にある倉庫の電球を LED 化にすることになりました。電力の消費量は昨年度に比べると年間での目標は達成できているが、各月ごとに見てみるとやはり夏冬時期は少し使用量が多くなってきているが、まだまだ改善の余地はある。

電気器具の LED 化等表面や数値で確認できるものについては、毎年取り組みを強化し、継続的な削減を実現していきたいと考えております。

社内活動として定着して来ているので、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。但し取り組みにより、現場サイドでも CO2 削減やごみの分別、削減に各現場での取り組みは少し浸透してきたと思われるので、引き続き努力してもらえようように社内としても対応していきたい。

但し、ガソリン及び軽油の使用に関しては近年売り上げ増加に、人員の増加に伴う増加にあると考えられるのでこれに見合った目標値を検討する。エコアクションの開始時期に比べて数字上明らかであるが、使用量に対する割合としては、特段の変更はなくても問題ないかと考える。

全体としては、ここ数年の売り上げがこれまでと比較し現在も上昇中である。基準との比較ではどうしても達成できない部分が出ているが社内では環境へ対応は進んでいると考えられる。特にガソリンについては変動が多く出る部分はある。

その中でも電力に関しては LED 化やエアコンの対応などに取り組み年々下降している事から目標を達成して来たことは、非常に評価出来ると考えます。社内全体でも他に出来ないかと更なる目標に向けて努力したいと考えています。

環境経営方針 ☐ 変更する ☒ 変更しない

環境経営目標及び
環境経営計画 ☐ 変更する ☒ 変更しない

実施体制 ☐ 変更する ☒ 変更しない

実施日：令和 7 年 5 月 1 日

日置産業株式会社

代表取締役 日置 大之